

■国分一太郎 教育文化運動家，児童文学者。生活綴方運動を推進した。

こくぶんいちたろう

大逆事件判決1911＝ 山形県北村山郡東根町で，長男に生まれる。

明治天皇没・1912＝ 1歳：

大暴落・・・1920＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝10歳：

治安維持法・1925＝14歳：東根尋常高等小学校を卒業し，山形県師範学校本科第一部に入学。

世界恐慌・・・1929＝18歳：この年創刊された{綴方生活}に触れて，国語教育・綴方教育に深い関心と興味を抱く。

海軍軍縮条約1930＝19歳：山形県師範学校を卒業，北村山郡長瀬村長瀬尋常小学校に赴任し，尋常科4年を担任。

満州事変・・・1931＝20歳：短期現役兵として山形歩兵第32連隊に入隊し，除隊後，長瀬小学校へ復帰。

国際連盟脱退1933＝22歳：生活綴方・生活教育運動に従事。

帝人疑獄事件1934＝23歳：3年生を担任，文集「もんべの弟」を作り始める。

日中戦争始・1937＝26歳：

健保+総動員 1938＝27歳：

日米開戦・・・1941＝30歳：

敗戦・・・1945＝34歳：

新憲法公布・1946＝35歳：*創設された日本児童文学者協会に入会して，取り組みが本格化，

新憲法施行・1947＝36歳：

朝鮮戦争始・1950＝39歳：*{日本綴方の会}結成に参加。

独立回復・・・1951＝40歳：「新しい綴方教室」「君ひとの子師であれば」を出版。_{日本綴方の会}が{日本作文の会}となり，委員。

メーデー事件・1952＝41歳：新日本文学会常任委員となる。「村の少年期」，

自衛隊発足・1954＝43歳：「教師の詩集」「現代教育の探求」。*「綴方風土記」で，サンケイ児童出版文化賞。

55年体制始・1955＝44歳：「生活綴方ノート」。「鉄の町の少年」で，児童文学者協会児童文学賞。

国連加盟・・・1956＝45歳：「教師」，

なべ底不況・1957＝46歳：「はだかの子ども」「平凡な教師たちへ」「生活綴方読本」「文学と教育・文学と教師」「生活記録・児童文学」，

インスタントマン・1958＝47歳：「文章入門」「新しい児童像と教育」「国語教育の本質」，

美智子妃・・・1959＝48歳：「ゆたかにすること・新しくすること」，

安保闘争・・・1960＝49歳：「日本の児童詩」「国語教育の本来像」「文章の書き方」，

タイタイ病始・1961＝50歳：「若い自画像」，

全国総合計画1962＝51歳：「国語教育の現実像」。山形県東根市で，{日本作文の会}主催の第11回作文教育遡究大会が開かれる。

大学紛争始・1965＝54歳：「わたくしのなかの母と子」「生活綴方の今日と未来」，

いざなぎ景気1966＝55歳：「日本のはじける芽」「母親教室ノート」，

美濃部都知事1967＝56歳：「教育もの言い20年」「もの・こと・ことば 大となく小となく」，

大阪万博・・・1970＝59歳：「実践生活綴方ノート」，

石油ショック1973＝62歳：「しなやかさというたからもの」「みんなの綴方教室」，

角栄金脈辞任1974＝63歳：

ケアンブル事件1975＝64歳：「ブーザー先生随聞帖」，

田中角栄逮捕1976＝65歳：新日本文学会議長に選ばれ，

JALハイジャック・1977＝66歳：「ずうずうべんべん」「すこし昔のはなし」「ブーザー先生国あるき」，

成田衝突・・・1978＝67歳：「昭和農村少年懐古」，

革新大敗北・1979＝68歳：「文章表現指導入門」，

貿易摩擦始・1980＝69歳：「いなかのうまいもの」「自然このすばらしき教育者」，

中曽根内閣・1982＝71歳：「ちちははのくにごことば」。*この年まで務め，

ディズニースト・・・1983＝72歳：

・・・1984＝73歳：「小学教師たちの有罪」，

ジャンボ機墜落1985＝74歳：胃がんの再発による消化管出血のため，東京都内で，_没した。